



南アフリカにお住まいの皆様及び旅行者の皆様へ

【タイトル】

強盗および逮捕・監禁事件の発生（ヨハネスブルク・アレクサンドラ地区）

【ポイント】

5月1日（金）午後5時頃、ヨハネスブルクのアレクサンドラ地区において、邦人が乗車するハイヤーが渋滞で停車中、強盗および逮捕・監禁の被害に遭いました。犯人グループは運転席の窓を叩き割って運転手に暴行を加え、車両を強奪。同乗していた邦人はそのまま車内で連れ回され、拳銃のようなもので脅迫され、金品を奪われました。

【本文】

1 5月1日（金）午後5時頃、ヨハネスブルクのアレクサンドラ地区（Alex mall前を南西に直進したVincent Tshabalala Rd上）において、邦人が乗車中のハイヤーが渋滞のため停車していたところ、男2名による襲撃を受けました。犯人らは運転席の窓ガラスを割り、運転手に暴行を加えて車外へ追い出すと、そのまま車両を強奪しました。同乗していた邦人は車内に拘束されたまま付近を連れ回され、車内で拳銃のようなものを突きつけられて金品を奪われた後、路上で解放され、犯人らはいずれかに逃走しています。幸いにも邦人の方に怪我はありませんでしたが、一歩間違えば命に関わる極めて凶悪な事件です。

2 つきましては、以下の点に留意して安全対策を講じるようにしてください。

本件被害場所であるアレクサンドラ地区は、強盗や窃盗事件が多発する地域でありますので、不用意に近付かないようにしてください。またヨハネスブルク市、ツワネ市（旧プレトリア）及びダーバンの各CBDは、危険度レベル2（不要不急の渡航は止めてください。）に指定されています。「南アフリカ滞在安全の手引」等を参考にしてください。

「南アフリカ滞在安全の手引き」

<https://www.za.emb-japan.go.jp/files/100513845.pdf>

- (1) 万一、被害に遭った場合は抵抗しない（抵抗すると相手が所持している武器を使用する虞がある）。
- (2) 可能な限り、徒歩での移動は避ける。
- (3) 車両を運転する場合
 - ・車内の見えるところに物は置かない、トランクやラゲッジスペースに収納する。座面のみならず足下に置いていて被害にあった例もある。また、ドアロ



在南アフリカ共和国日本国大使館 Embassy of Japan in South Africa

ックは常にかけるようにする。

- ・ 信号や渋滞などで停車中は特に狙われやすいことを念頭に、停車中の周囲（左右前後）の警戒を怠らない。
- ・ 不審者（車）が接近した場合、直ちに退避・移動できるように停車時は前の車両との車間距離を十分に空け、退路を確保しておく。
- ・ スマッシュ&グラブ対策フィルム（透視度の低い暗い色で中が見えにくいものが望ましい）を貼付する。
- ・ 特に夜間の運転、単独での運転については、細心の注意を払う。

3 万一、事件・事故等に巻き込まれた場合は、在南アフリカ日本国大使館に連絡してください。

【問い合わせ先】

在南アフリカ日本国大使館

HP : http://www.za.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

住所 : 259 Baines St, Cnr Frans Oerder St, Groenkloof, Pretoria

電話 : +27 12 452 1500 領事・警備

※「たびレジ」簡易登録をされた方でメールの配信を停止したい方は、以下のURLから停止手続きをお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>